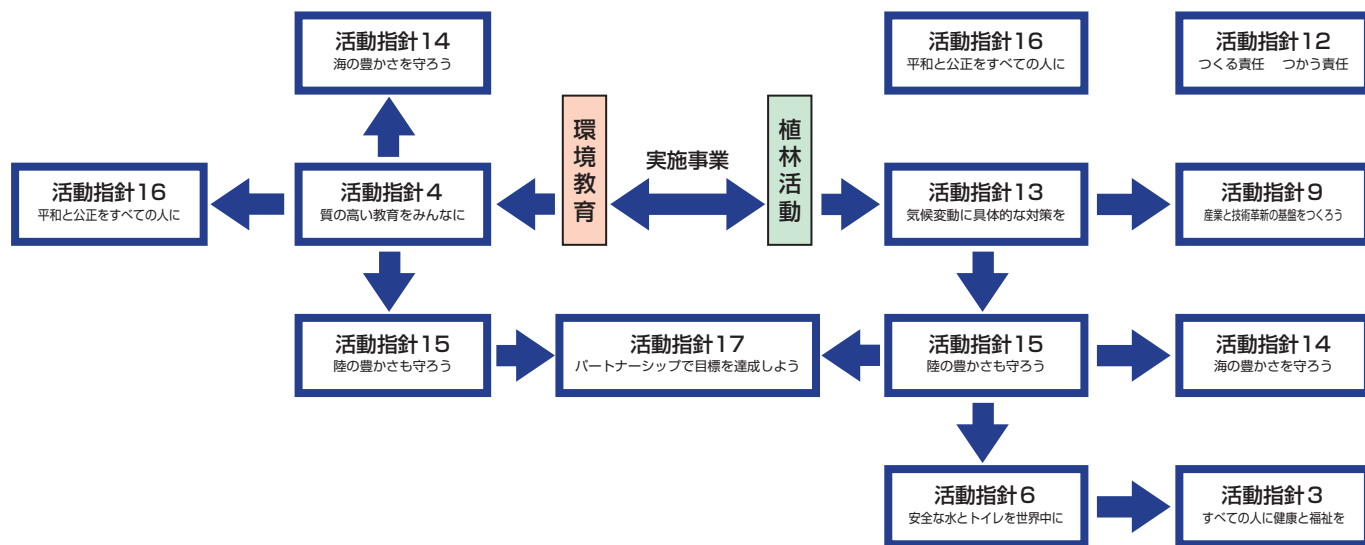




国連加盟国は、2015年9月25日の総会決議により、持続可能な開発目標（SDGs：SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS）を採択しました。

この決議のねらいは「あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰一人取り残されないようにするため、2030年までにこれら17の目標を達成すること」にあります。

NPO法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会とSDGs（持続可能な開発目標）



SDGsの活動方針			貢献している具体的な活動
3		すべての人に健康と福祉を	植林活動により、有害な化学物質・空気・水・土壌の汚染による被害を防ぎます。
4		質の高い教育をみんなに	時宜に応じたテーマ設定で、児童・青少年への環境教育を実施しています。
6		安全な水とトイレを世界中に	植林活動により、山・森林・湿地・川・帯水層・湖などの水関連の生態系を保護および復元することに役立っています。
9		産業と技術革新の基盤をつくろう	ハバロフスク地方においてエコツーリズム等、木を切らないで利用する産業を開発します。
12		つくる責任 つかう責任	ロシアにおける木材の持続可能な管理と天然資源の効率的な使用および迂回消費も考察しています。（迂回消費とは、ロシアで生産された木材を中国で加工し、日本で消費していること）
13		気候変動に具体的な対策を	森林保全により自然災害に対する回復力と適応能力を強化しています。
14		海の豊かさを守ろう	オホーツク海に注ぐアムール河流域の森林保全により、北海道および三陸沖の漁場を豊かにしています。
15		陸の豊かさを守ろう	火災地修復のために、森林保全等の植林を行っています。
16		平和と公正をすべての人に	植林活動や環境教育で、ロシア北方先住少数民族への支援を行っています。
17		パートナーシップで目標を達成しよう	植林活動や環境教育でロシアの森林関係者との強いつながりができ、協力しています。